自由研究フェスティバルin 関西大学

実施年度

2017年度～2020年度

主な連携先・メンバー

各関係企業・団体

活動地域

関西大学堺キャンパス

活動の目的

地域における子育てネットワークの構築や子どもの貧困問題へのアプローチを推進すること

連携にいたる経緯

事業代表者の専門分野である子ども家庭福祉領域では、地域における子育てネットワークの構築や子どもの貧困問題へのアプローチが課題となっており、堺市および関係機関、関係団体と連携して推進することとなった。

活動内容

本学堺キャンパス近隣の小学校や子ども食堂に通う小学生たちと、福祉や健康を学ぶ人間健康学部の学生らが、夏休みの自由研究や遊びを通じて交流する「自由研究フェスティバル」。子育てネットワークの構築、子どもの貧困問題への啓発、関係機関との連携強化および活動推進に加え、さまざまな家庭環境の子どもたちの豊かな活動体験を目的として、関係企業・団体の協力を得て開催している。当日は、約350人の子どもたちと約150人の大学生ボランティアが、「自由研究教室」「遊びブース」「食べ物ブース」を一緒に回りながら交流を深めた。

2017年度、2018年度実施の際、フェスティバル当日に子どもがキャンパスや大学生に馴染めないことが課題としてあげられたため、2019年度にはプレ企画として「お出かけ子ども食堂」を実施。フェスティバルに参加予定の子ども食堂に通っている子どもを対象に、遊びやアクティビティ、昼食などを学生と共にすることで、子どもと学生の関係づくりを行いフェスティバル当日への不安を払拭することを目指した。

活動の成果

1. 「お出かけ子ども食堂」の実施により、普段子ども食堂に通っている友達と一緒に参加してもらうことができた
2. 子ども達には、普段できない体験や普段会う機会の少ない友達・学生たちとの交流を通じて楽しい夏休みの思い出を作ってもらうことができた
3. 学生を中心とした組織作りを行ったため、学生達の成長にも繋がった

今後の課題・目標

1. 事業運営の効率化
2. フェスティバルの内容のテーマ化
3. 関係団体との連携

教員紹介

人間健康学部准教授　福田　公教（ふくだ　きみのり）

専門は社会福祉学、子ども家庭福祉論。社会的養護の普及・啓発および社会的養護下にある子どもの自立支援のあり方について研究を進めている。妻とともにはぐくみホーム（養育里親）をつとめている。

事業領域

- 堺市推進事業：子どもの体力・元気力向上の推進／健康づくり・地域福祉の推進／地域協働型事業の推進／まちのにぎわいづくり
- 人間健康学部推進事業：学生の学び力向上／教育研究の地域還元／教員の専門分野・学生活力の活用

KANSAI UNIVERSITY Faculty of Health and Well-being 10th Sakai Campus